

平成17年9月14日

4号機圧力抑制室の点検・清掃作業の終了について

当所4号機は定期検査中ですが、平成17年7月1日より圧力抑制室内の点検・清掃作業を開始し、作業の結果は、作業工程ごとに取りまとめてお知らせすることとしておりました。

圧力抑制室内の点検・清掃作業のうち、8月2日までに圧力抑制プール内の点検および非常用炉心冷却系吸い込みストレーナの目視点検および清掃を終了し、発見したシート片、テープ片等（合計44個）を回収いたしました。

4号機は、前回の定期検査において圧力抑制室内の点検を実施しておりますが、今回の作業で発見されたシート片等は、圧力抑制室底部に堆積していたクラッド*内にあり確認しづらかったものや点検確認しづらい部位に付着していたものが移動してきたものと推定しております。

なお、非常用炉心冷却系吸い込みストレーナの点検の結果、異常はありませんでした。（6月30日、7月27日、8月4日お知らせ済み）

引き続き、圧力抑制プール内底部に堆積したクラッドの回収作業を行っていましたが、昨日、圧力抑制室内における一連の作業が終了しました。

今回のクラッド回収作業においては、新たな異物は発見されませんでした。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。なお、原子炉起動前には最終点検を実施する予定です。

以 上

* クラッド

不溶解性物質の呼称で、原子力発電所では、給復水系等の鋼材から発生する鉄サビ等の金属不純物が主成分である。

(参考)

- ・ 7月 1日～7月 26日 清掃作業、圧力抑制プール内点検
- ・ 7月 22日～8月 2日 ストレーナ点検・清掃
- ・ 8月 16日～9月 13日 圧力抑制プール内クラッド回収・確認